

生産性向上支援訓練 利用者の声

受講コース:ITツールを活用した業務改善

(令和7年4月2日、4月9日、4月23日、4月30日)

他3コース 5月(4日間), 6月(4日間), 7月(4日間)

受講事業所基本情報

- ・事業主名 日鋼設計株式会社
- ・所在地 広島市安芸区船越南一丁目6番1号
- ・事業内容 プラスチックの総合機械メーカー
JSW製品の設計

訓練内容

【ねらい】業務の省力化や効率化を目指して、ITツールを活用することで業務改革を実現するために、ITツールの特徴と種類を理解し、自社業務に適切なITツールを選定するための知識を習得する。

1. ITツールの種類と活用
(1)市民開発について
2. ITツールの業務適用
(1)Power Appsの概要と基本操作
(2)Power Appsによるアプリ作成

他3コース

- ・IT新技術による業務改善
＜Power Automate＞
- ・データ活用で進める業務連携
＜Power BI＞
- ・DX人材育成の進め方
＜DXを推進するための人材育成＞



具体的な成果

訓練の成果として、現在では全従業員約20%が市民開発者となり業務用アプリや自動化フローの開発を自律的にできるようになりました。これまでに「休暇申請アプリ」「備品管理アプリ」や業務負荷を可視化するアプリなど直接業務にかかわるアプリも多く開発されており、業務改善に大きく貢献しています。2025年10月現在で60を超えるアプリやフローが運用されており、業務の効率化と生産性向上に寄与しています。今後は、アプリ・フロー開発が可能な人材をさらに育成し、業務の効率化を一層推進していきたいと考えています。

受講者の声

私は入社10年目で取扱説明書の作成業務を担当しています。今回の訓練では、Power AppsやPower Automateを活用し、非IT部門の社員でも業務改善に取り組めることを実感しました。

かねてより課題に感じていた工事番号、工事日程、仕様情報などを一元管理し、班員と情報共有できるアプリを自ら開発できたことは大きな成果です。

講師の方が受講者のニーズに合わせて訓練内容を設計してくださったおかげで、理解が深まり、実務に直結する具体的な構想も練りやすくなりました。訓練では、自作アプリの発表の機会もあり、他の受講者から多くの刺激を受けました。今後も学びを継続し、「こうしたら便利になるのでは」という発想を大切にしながら、業務のさらなる効率化に取り組んでいきたいと考えています。



樹脂機械設計課
庄野 英理子様

受講者の声

DX推進活動に興味があり、自分も推進側になりたいと思い参加しました。

訓練ではPower Platform、特にPower Appsを活用することで、申請業務などの面倒な作業がスマートになると実感しました。

業務の効率化だけでなく、データの整備や活用の重要性も改めて実感し、受講前と比べて業務で扱うデータへの意識が大きく変化しました。

普段は設計業務を担当しており、設計根拠の蓄積や情報の一元管理など、設計業務においてもDXの活用が有効だと感じているので、今後は学んだ知識を活かし、業務改善や社内プロジェクトにも積極的にに関わり、DX推進に貢献したいです。



射出電装設計課
城戸 貴博様

事業主の声

当社はプラスチック総合メーカー日本製鋼所広島的主力製品である造粒機、押出機、射出機の出荷設計を機械、電装、電子技術の分野で行っている所内企業です。これまでも能力開発セミナー(機械設計、電気・電子・制御系コース)を若手社員中心に受講してきました。

各種アプリ開発の効率化のために、プログラムのローコード、ノーコード化を図り、必要な部署で必要なプログラムを内製化(市民開発)することを目指して、Microsoft 365に入っているMicrosoft Power Platformの導入を模索していましたが、3年前からポリテクセンター広島の担当者と打合せしながら既存の生産性向上支援訓練コースをカスタマイズしてもらい、Microsoft Power PlatformのPower Apps、Power Automate、Power BIを習得するための訓練を行っています。本年度で、延べ50名以上の社員が受講を終了しています。



取締役総務部長
山下法夫様